

第3回ふじさわ人権協議会 2020年2月22日(火)

# 性的マイノリティの人権課題について

(認定) 特定非営利活動法人SHIP

星野 慎二

# 話の流れ

## 1. 性的マイリティとは？

LGBTだけではない。性は多種多様なのです。

## 2. なぜ言えないのか？

言えない環境を作っているのは何か。

## 3. 性的マイリティの健康阻害、日常の困難

孤立から生じる健康阻害、日常生活で抱える困難

## 4. コロナ禍における影響

当施設の利用者アンケート調査から見えてきたこと

## 5. 今後の課題

アウティング、ダブルマイリティ、性差別

# 1、性的マイノリティとは？

# 性的マイノリティとは？

## 性的少数者・性的マイノリティ

### 性的指向

女性同性愛者

Lesbian

男性同性愛者

Gay

両性愛者

Bisexual

無性愛

全性愛

### 性の違和感

性同一性障害  
トランスジェンダー

Transgender

近年、国内でLGBTが用いられるが、4の 카테고リーに明確に分類できるものではない。

# 推定人口

## 性的指向

女性同性愛者

Lesbian

男性同性愛者

Gay

両性愛者

Bisexual

## 性の違和感

性同一性障害

トランスジェンダー

Transgender

同性に魅力を感じ性交経験 3.7%

厚生労働省科学研究班 2009年調査

北海道大学の調査

2,800人に1人

一般的に、20人に1人とされている。

皆さんの身近なところ(職場や家族)に居るかも知れません。

「居ない」のではなく、「言えない」

# SOGIという概念

**S**exual **o**rientation & **G**ender **i**dentify  
(性的指向) (性自認)

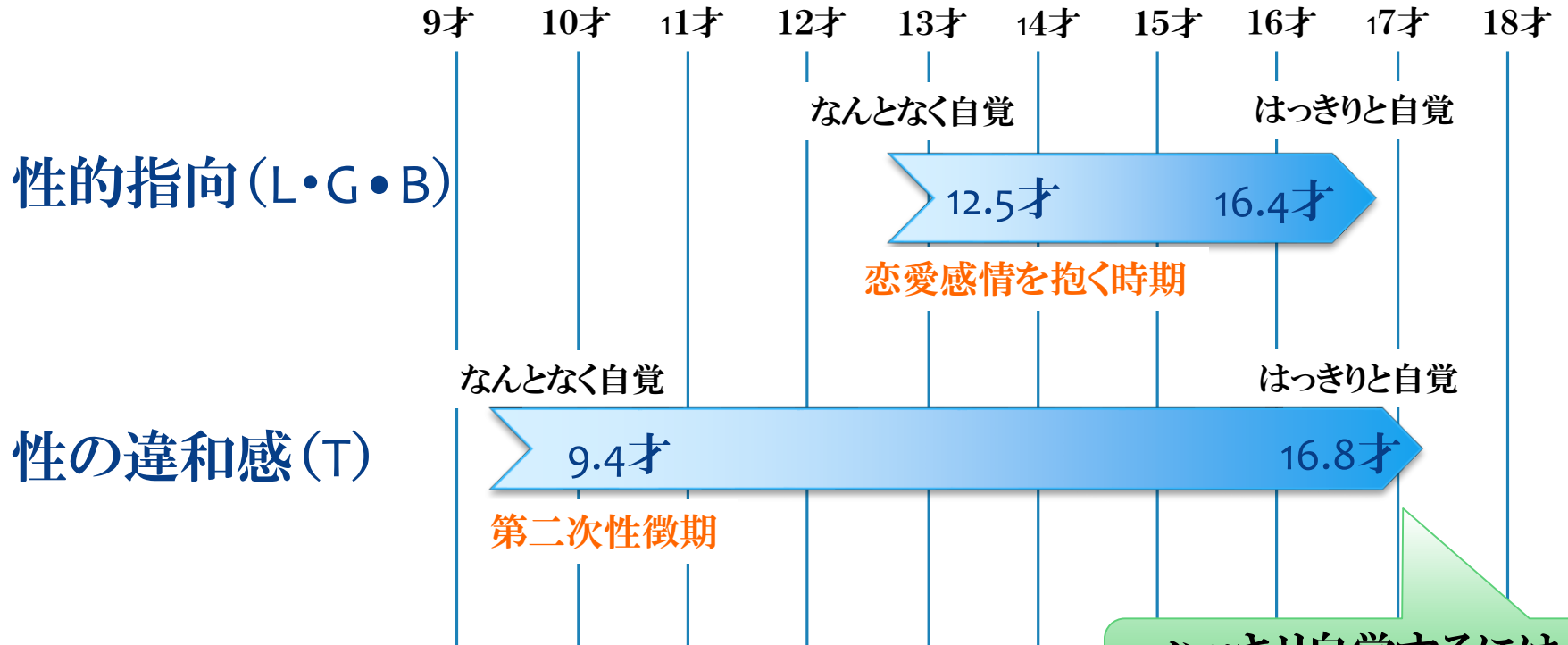
# SOGI

ソジまたはソギと呼ぶ

国連やWHOでは性的指向と性自認についてを指す言葉として使われています。  
性的マイノリティ以外も含まれてきます。

# 生育歴

いろいろな体験をしながら徐々に気づいていきます。



ハッキリ自覚するには  
情報(概念)が必要

# 小中学の教科書

## 【小中学校の教科書】

思春期になると、だれもが異性に惹かれる。二次性徴が来るのは素晴らしいことで、気になる異性がいることは自然なこと。



同性に恋愛感情が向く子どもは、自己否定感を強める。



2021年度から中学校で使用される教科書で、保健体育など6教科 計17点でLGBTなど性的少数者に関する内容を取り上げる。

(2020年3月25日 日本経済新聞より)



## 2、なぜ言えないのか？

# なぜ言えないのか？

同性愛はテレビのバラエティ番組で、話を盛り上げる「ネタ」や「キャラ」として扱われることが多い。

当事者は、

「ホモ」「おかま」

といった言葉で傷ついています。

自分が笑いの対象となることを恐れています。

# メディアの影響

## 【1990年代】

とんねるずの石橋貴明氏が「保毛尾田保毛男(ほもおだほもお)」というキャラクターで登場。「ホモ」ネタで笑いを取るシーンがありました。

## 【2017年9月28日】

「とんねるずのみなさんのおかげでした 30周年記念SP」の番組で放送したところ抗議が殺到。翌日、フジテレビの社長が謝罪

# 差別的な言葉

## 家庭で

- \* テレビに出てくるオネエタレントをみて、親が「ゲイって気持ち悪い」と言った。

## 議員さんが

- \* **同性愛者は異常** (2015年 海老名市議会議員 Twitterに投稿)
- \* **同性愛者は生産性がない** (2018年 衆議院議員「新潮45」に投稿)
- \* **LGBTばかりになると足立区が減ぶ** (2020年足立区議会議員 議会)
- \* **生物学上、種の保存に背く** (2021年衆議院議員 党会合で発言)

# ホモフォビア

## ホモフォビア(嫌悪感)

- \* 同性愛(者)を合理的な根拠なく、否定的にとらえること。
- \* 個人のレベルだけでなく、社会的、文化的にもみられるものなので、同性愛者の当事者も、自らの価値観として内在化してしまう。

→内在化されたホモフォビア

## ※トランスフォビア

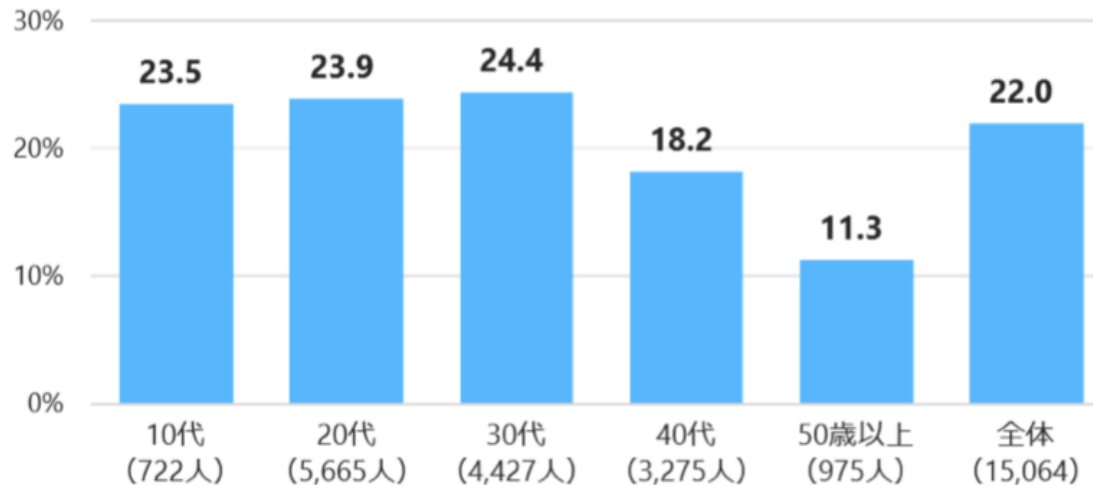
ホモフォビアは、その人の育ってきた環境や年代によって異なります。

# カミングアウトの割合

➤ 偏見や差別により、カミングアウトできない。

親へのカミングアウト	22.7%
職場・学校でのカミングアウト	27.6%

親へのカミングアウト状況（年齢階級別）



# 3、性的マイノリティの健康阻害 日常の困難

# 健康障害

## 性的マイノリティに対する偏見・差別

自尊感情の低下

- 自殺未遂
- 不登校

- 男性同性間における
- HIV/AIDSの増加



## 孤立することによる健康阻害

- \* 孤独感、疎外感
- \* 抑うつ感
- \* 自殺、自傷行為
- \* 薬物依存
- \* DV、性暴力
- \* 不登校、ひきこもり等

# メンタルヘルス

## ➤ ゲイバイセクシュアル

自殺を考えた ..... 65.9%

自殺未遂 ..... 14%

(異性愛者の約6倍)

厚生労働省エイズ対策研究事業「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」  
(宝塚大学 日高庸晴)

## ➤ 性同一性障害

自傷・自殺未遂 ..... 28.4%

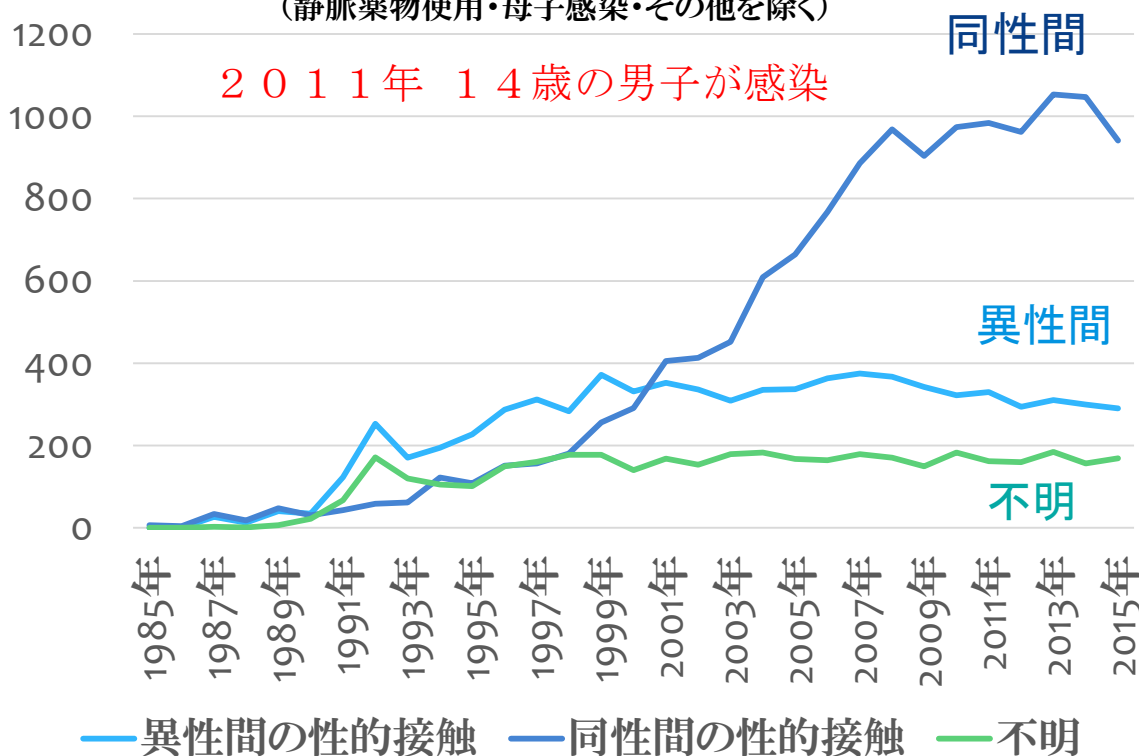
不登校 ..... 29.4%

(岡山大学病院ジェンダークリニック 中塚幹也 2009年)

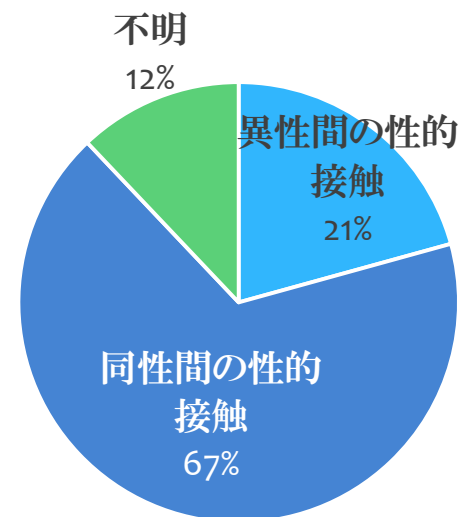
# HIV/AIDSの現状

## HIV・AIDSの年次推移

(静脈薬物使用・母子感染・その他を除く)



## 感染経路別割合(2015年)



# 10代のトラブル

## ▶ インターネットによるトラブル

### ❖ 同性愛者

異性間と同じ問題が同性間でも起きている

✓ 大人からの誘惑で望まない性交渉

✓ 援助交際

✓ HIV性感染症感染



サイバーパトロールで補導



親に強制カミングアウト

### ❖ トランスジェンダー

✓ 治療へ誘導

✓ ネットビジネスへの勧誘

# 日常の困難

## 全体に共通

- 多くの当事者は自らの性的指向や性自認を知られることに恐怖を感じています。

### 【近年の傾向】

- メディアなどでLGBTを取り上げられる機会が増えてきた。



- 学校や職場でカミングアウト



- 拒絶されたり、本人の同意なく他人に伝えられてしまう。

「アウティング」

# 日常の困難

## 同性パートナー

- 病院で面会の拒否、病状を知らせてもらえない。  
患者の同性パートナーが、法的に「家族」でないという理由で病室への立ち入りを拒まれたり、その最期に立ち会えないことがあります。
- 会社の福利厚生を受けられない
  - パートナーと同居してして、単身赴任した場合(単身人手当)
  - パートナーの家族\*1の死亡(弔慰金、弔慰休暇)
  - パートナーの家族\*1の介護(介護休暇)

# 日常の困難

## トランスジェンダー

▶トランスジェンダー(性同一性障害)の方は、他人に性別を知られることを嫌がります。

性別の記載、身分証明書の提示、戸籍上の名前を呼ばれること。

(例)

受付…… 健康保険証の提示、名前を呼ばれる。

病棟…… 多床室(大部屋)が男女で分けられている。

体調が悪くても行院にかからないことがある。

## ➤ 公共のトイレ

公共のトイレは男女に分かれているため使い難い。  
男女共用の誰でもトイレも「身体的に不自由な人」というイメージがあり使いにくい。



一番使いやすいのは誰もが同じように使用しているコンビニのトイレ

➤ 更衣室・シェルター・女性車両も同様です。



# 4、コロナ禍の影響

# コロナ禍の影響

## ➤ 施設利用者のメンタルヘルス

精神的健康度をコロナ禍の前後で比較を行ったところ、コロナ感染拡大後の重症群（13点以上）が15.3%増加していた。

	2019年度		2020年度	
5点未満	130	45.6%	79	39.7%
5～9点	73	25.6%	31	15.6%
10～12点	34	11.9%	25	12.6%
13点以上	48	<b>16.8%</b>	64	<b>32.2%</b>
	285	100.0%	199	100.0%

44.8%

重症群（13点以上）が15.3%増加

三菱UFJリサーチの一般市民の調査で10点以上 27.6%と比較して本調査は17.2%高い

# コロナ禍の影響

## ➤ 居住形態による比較

K6スコア 10点以上の高位群の居住形態について比較を行なったところ、家族と同居している人のKスコア 10点以上が前年度に比べ16.6%増加していた。

	令和元年度		令和2年度	
	n	(%)	n	(%)
家族と同居	42	72.4%	65	89.0%
ひとり暮らし	12	20.7%	6	8.2%
宿舎、寮	3	5.2%		0.0%
友達と同居		0.0%		0.0%
恋人と同居	1	1.7%	1	1.4%
その他		0.0%	1	1.4%
	58	100.0%	73	100.0%

16.6%増

コロナ禍により家族と一緒に過ごす時間が長くなったことにより、両親にカミングしていない人がストレスを抱えていると思われる。

内訳

カミングアウトしていない	62.8%
片親だけにカミングアウト	25.7%
両親にカミングアウト	7.7%
親はいない	3.8%

# 5、今後の対策

# 今後の対策

- 否定的な言動によりホモフォビアが強くなっていますので、肯定的な情報を出していくことが大切。

[ 啓発・パートナーシップ宣誓制度の促進 ]

- 孤立することから自己肯定感が低くなっていますので、同じ仲間と安全に出会える場をつくること。

[ 交流会・相談の充実 ]

- 他の人に伝えられてしまうアウティングが起きています。

[ 啓発の促進 ]

- あらゆる障害を抱えるの方（ダブルマイノリティ）が、LGBTコミュニティの中に入っていけず孤立している。

➤ 各種支援機関に対する研究